



こんにちは 日本共産党府議会議員  
**さこ祐仁** 議会報告

ホームページ <http://www.yuuji-sako.hello-net.info/>

2015年 2月8日 NO206号

連絡場所

日本共産党上京生活相談所  
 813-2117

# いのちに格差は許されない！

## いのちの署名（13097筆・一次分）を京都府に提出

署名を提出する参加者



署名提出前に議員団と参加者との懇談会



2月3日（火）、全府的にとりくまれていた「医療費の心配をなくして、いのちを守る署名」（略称：いのちの署名）の、京都府への第一次提出行動が行われました。13097筆の署名が提出され、京都府・健康福祉部の医療企画課長と副課長が受け取りました。

参加者からは、「消費税が引き上げられ、年金が減る中で、国保料や窓口負担が引き上げられれば、受診を減らすのでなく、病院に行けなくなり、命が脅かされることになる」「MRIを受けるのに、3割負担なら9千円かかるが、マル老のおかげで1割の3千円で、ほんとうに助かっている」「マル老の周知徹底には、個別通知すべきだ」「子どもの医療費が、住んでいる地域によって格差があるのはおかしい」「子どもの医療費やマル老制度は、どちらかを優先でなく両方とも同じように拡充を」との声が出されました。

課長は、「お聞きした内容は、署名の物理的な重さ以上の重さを感じる」と言って、それぞれの要望について、コメントしました。

上京区の各学区や各種団体の年初の行事など催しが行われ、参加させていただきました。その中でも厳しい経済状況を反映して、たくさんの生活相談が寄せられました。すぐに解決できるものもあれば、法律の専門家などのお知恵を借りていかなければならないものもあります。

「生業が成り立ち、安心して住める上京区をみなさんと一緒につくりたい」と改めて決意した次第です。

**西陣織展** 1月31日  
 伝統産業の技術の粋が披露されました。



**上京区新総合庁舎開所式**  
 1月24日  
 素晴らしい新庁舎です。区民がどんどん使えるように頑張りましょう。



### ブラックな働かせ方の根絶を！

民青同盟が取り組んでいるブラックバイトのアンケート調査で、若者を中心にブラックな働かせ方が広がっていることと併せ、その深刻な状況が日本共産党府議会議員団との懇談（1月21日）の中で寄せられました。「ミスをしたら給料から天引きされた」「シフトが勝手に決められて授業に出れない」などの違法行為が「割を超えている実態です。」

わたしは、相談窓口の設置はもちろんのことです。が、企業への積極的な働きかけと同時に、学生へも労働者の権利を周知徹底させる取り組みが京都府や労働局に求められていると痛感しました。これから「ブラック企業・ブラックバイトは許さない」の立場で頑張る決意です。